

# 小規模事業者景況調査報告書（第10号）

## ●北海道経済概況の推移（経済産業省北海道経済産業局）

	平成30年4月	5月	6月
総括判断	持ち直している	持ち直している	持ち直している
生産活動	持ち直しの動きがみられるものの、一部に弱い動き	<b>持ち直しの動きがみられる</b>	持ち直しの動きがみられる
個人消費	持ち直している	持ち直している	持ち直している
観光	改善している	改善している	改善している
公共工事	<b>減少に転じている</b>	減少している	<b>増加している</b>
住宅建設	<b>弱まっている</b>	弱まっている	弱まっている
民間設備投資	増加している	増加している	<b>減少している</b>
雇用動向	改善している	改善している	改善している
企業倒産	件数、負債総額とも減少	件数、負債総額とも減少	件数は減少、負債総額は増加

## ●道北経済概況の推移（財務省北海道財務局旭川財務事務所）

	平成30年2月	平成30年5月
総括判断	一部に弱さがみられるものの、持ち直している	一部に弱さがみられるものの、持ち直している
個人消費	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある
観光	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している
公共事業	前年を上回る	前年を下回る
住宅建設	持ち直しの動きに足踏みがみられる	持ち直しの動きに足踏みがみられる
雇用情勢	改善している	改善している

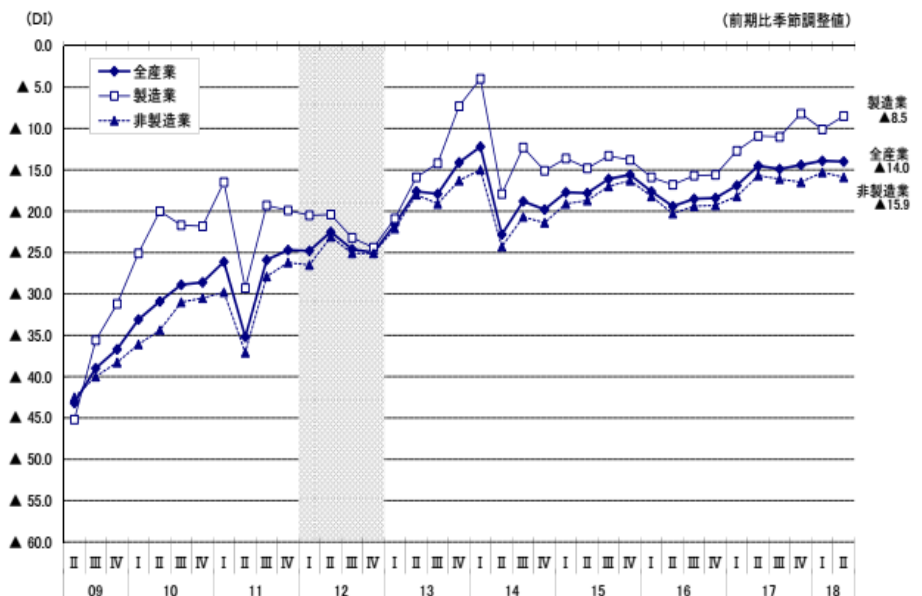
## ●中小企業景況調査（独立行政法人 中小企業基盤整備機構）

2018年4～6月期の全産業の業況判断DIは、（前期▲13.9→）▲14.0（前期差0.1ポイント減）となり、3期ぶりにマイナス幅がわずかに拡大した。

製造業の業況判断DIは、（前期▲10.1→）▲8.5（前期差1.6ポイント増）と2期ぶりにマイナス幅が縮小した。非製造業の業況判断DIは、（前期▲15.3→）▲15.9（前期差0.6

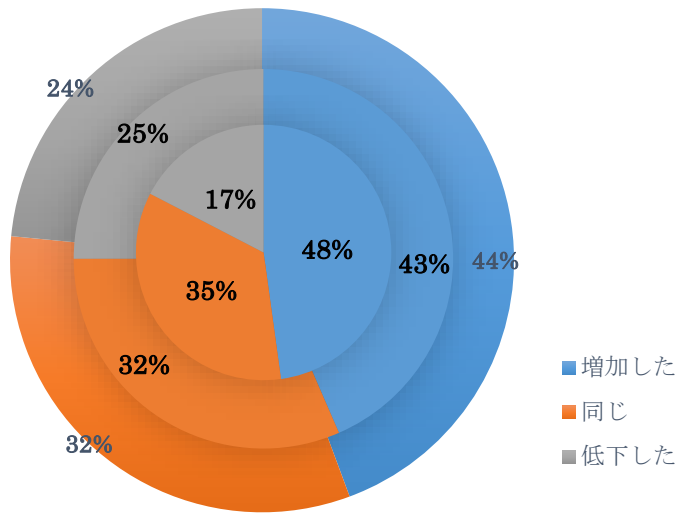
ポイント減）と2期ぶりにマイナス幅がやや拡大した。

中小企業の業況判断DIの推移



●あさひかわ商工会では、地域内小規模事業者の「景況確認と経営問題の把握」についての調査を平成30年4月1日～6月30日までの期間実施し、その概要を以下のとおりまとめました。

## 全業種の売上高DI値



全業種 DI +20

個人事業所	67件
法人事業所	48件
合計	115件

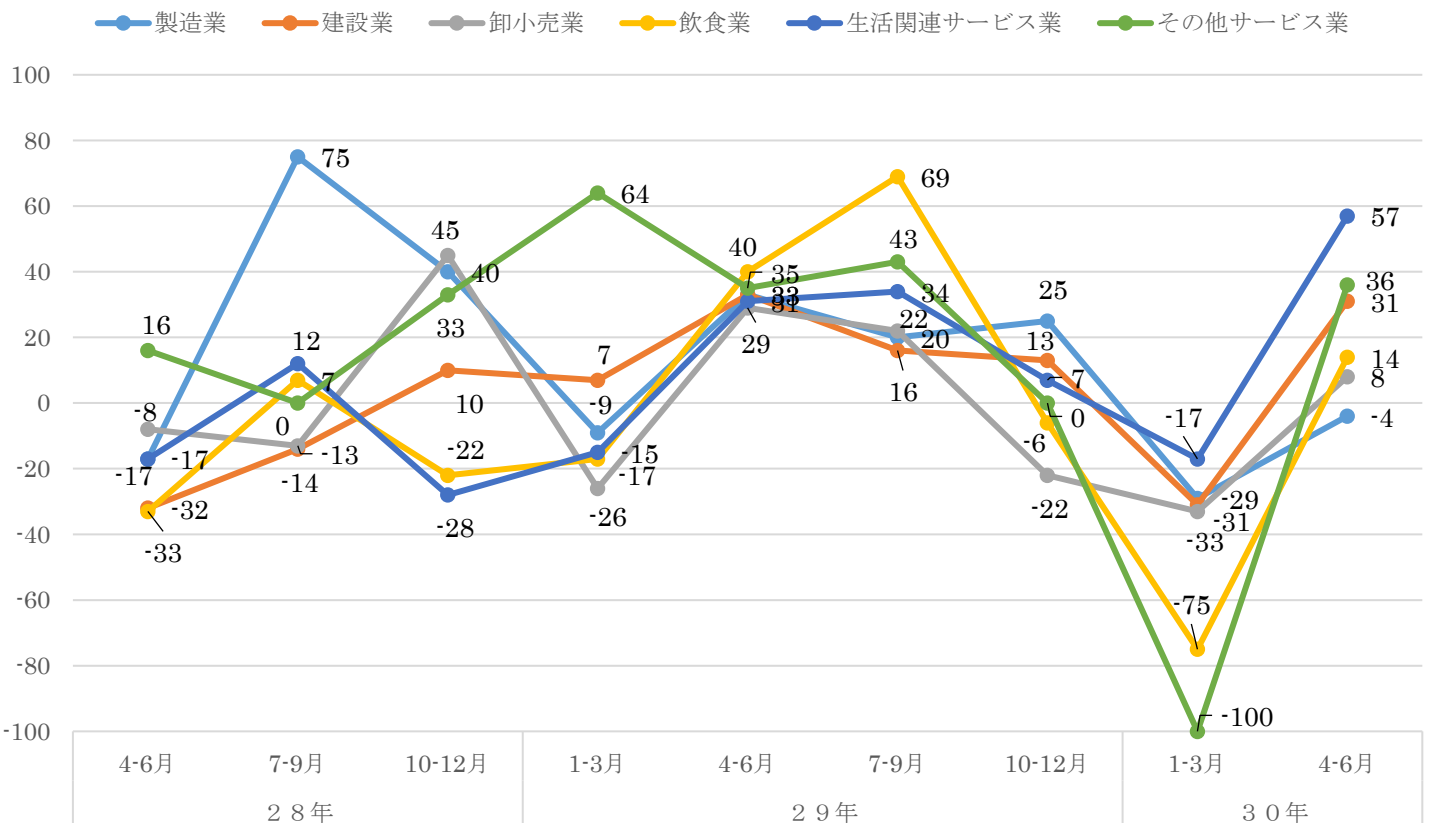
業種	件数
製造業	10件
建設業	49件
卸小売業	13件
飲食業	22件
生活関連サービス業	7件
その他サービス業	14件
合計	115件

大円：全事業所、中円：事業計画書未作成、小円：事業計画書作成済

全業種（大円）の売上高DI値は、+20と前回調査より+59ポイントであった。

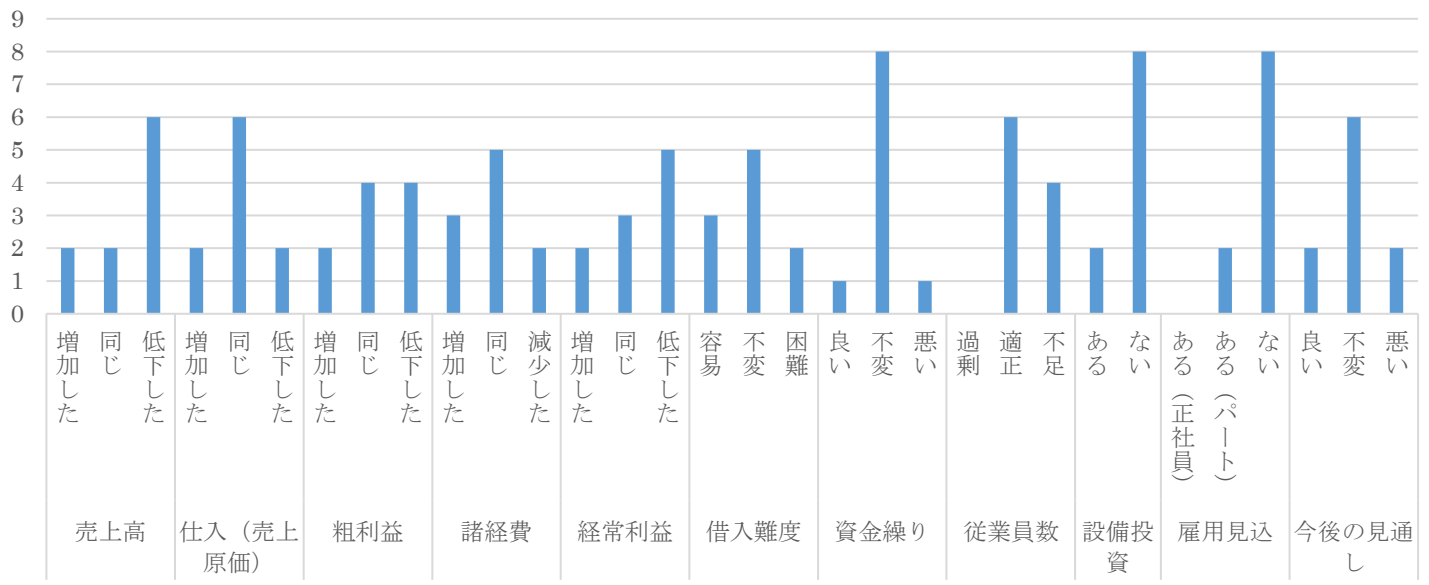
業種別には、製造業が前回調査時△29ポイントから△4ポイントへと+25ポイント増加した。建設業は、31ポイント（+62ポイントの増加）、卸小売業は、+8ポイント（+41ポイントの増加）、飲食業は、+14ポイント（+89ポイントの増加）、生活関連サービス業は、+57ポイント（+74ポイントの増加）、その他サービス業は、+36ポイント（+136ポイントの増加）となった。

## 業種別売上高DI値の推移

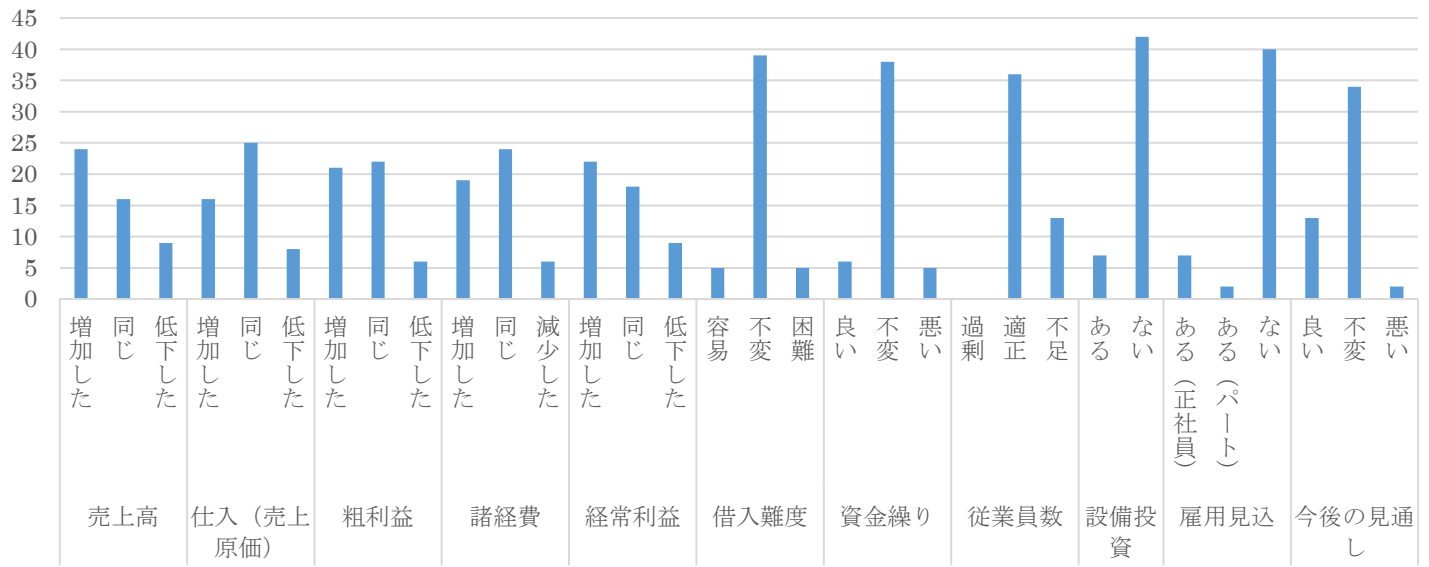


売上高DI = 売上増加企業割合 - 売上減少企業割合

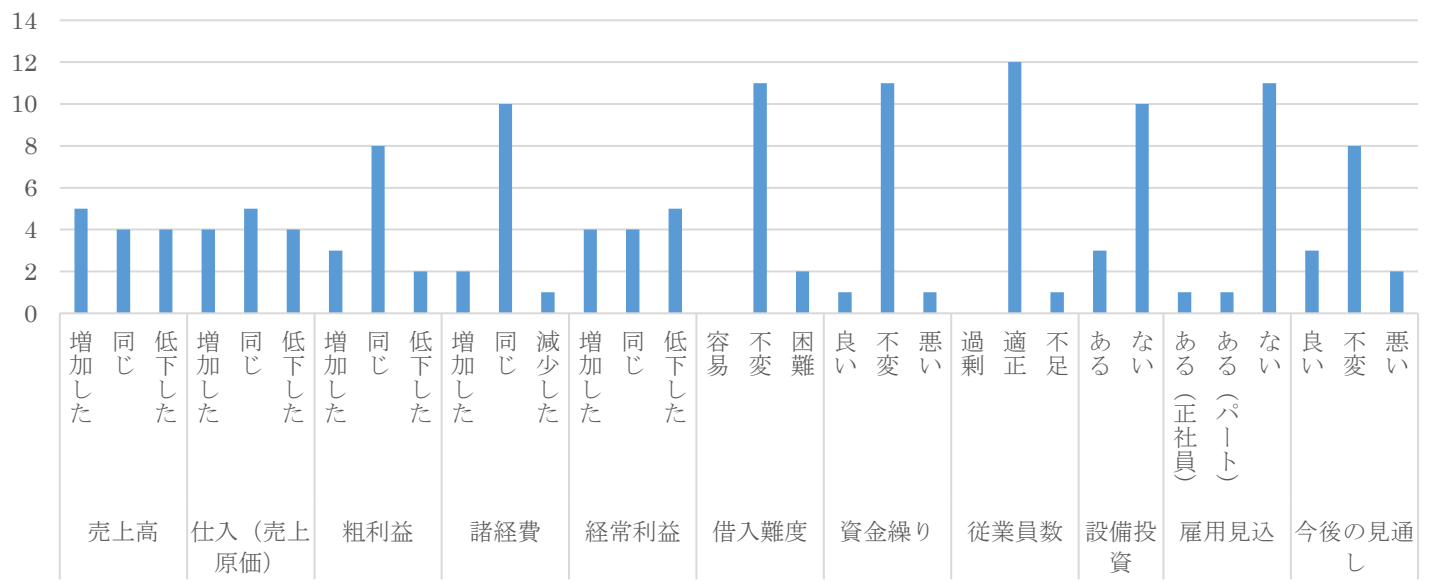
## 製 造 業



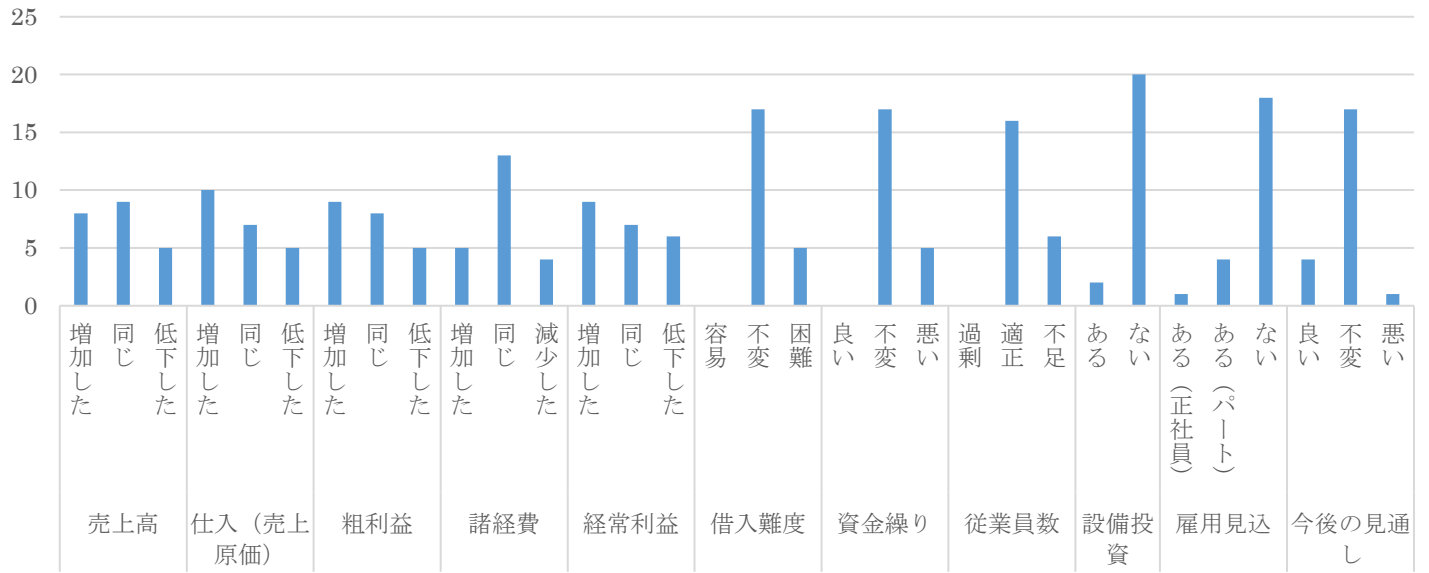
## 建 設 業



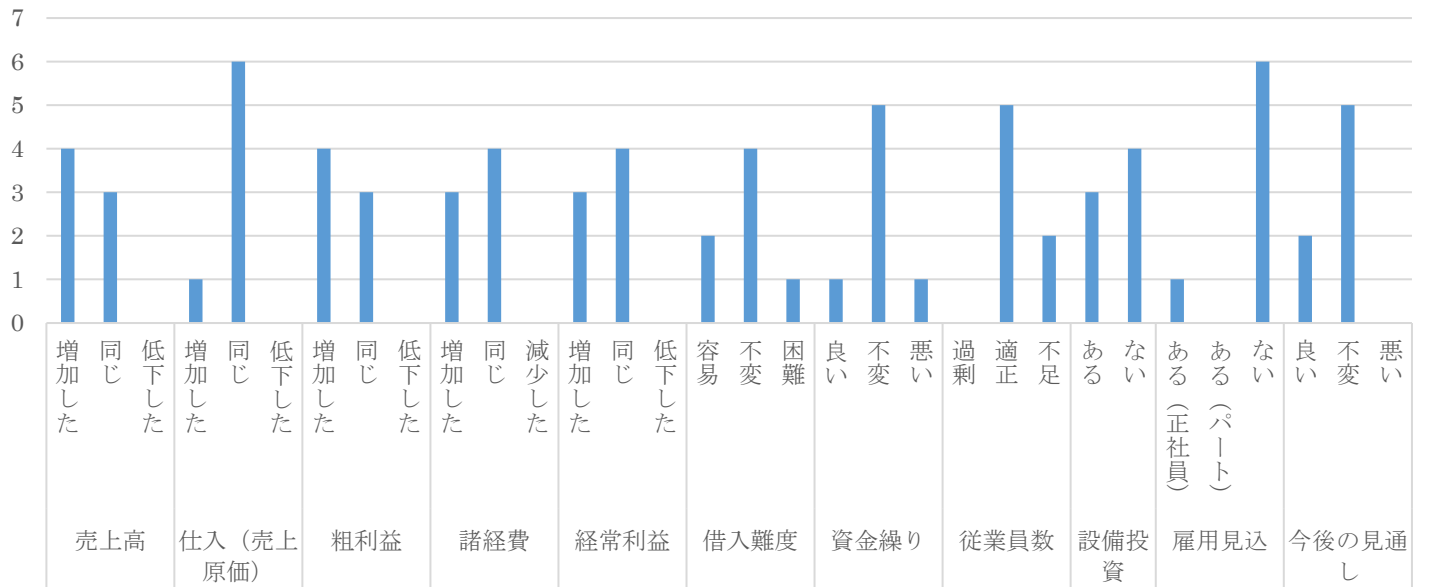
## 卸小売業



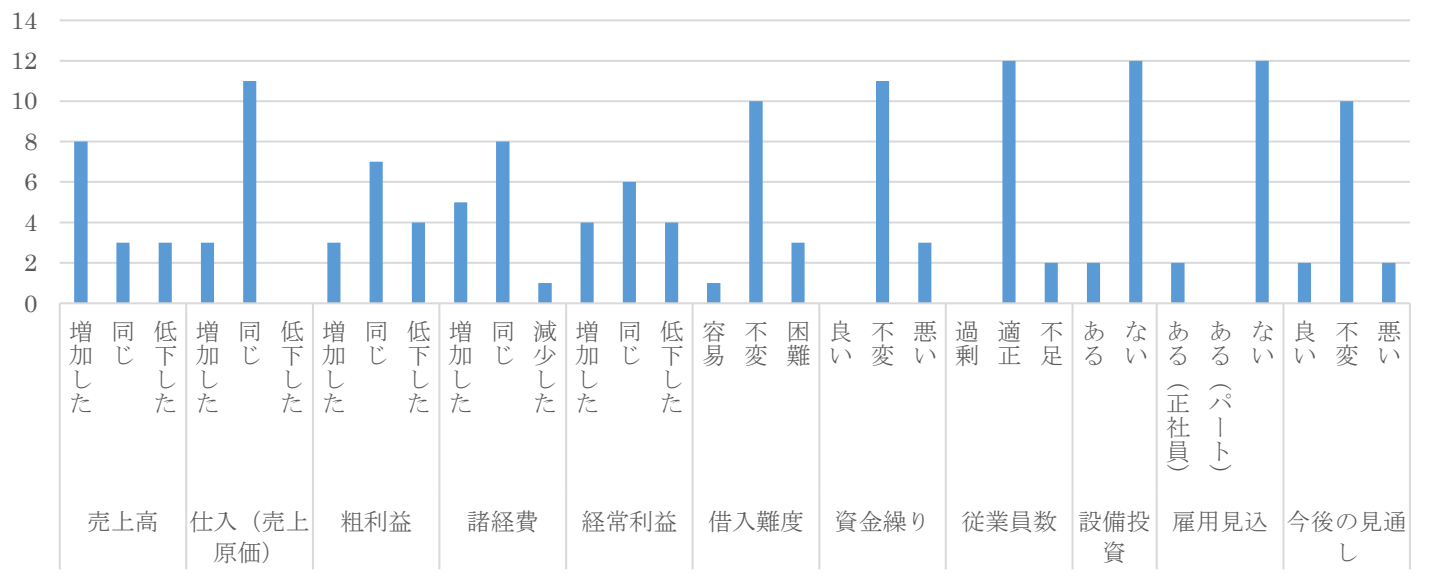
## 飲 食 業



## 生活関連サービス業

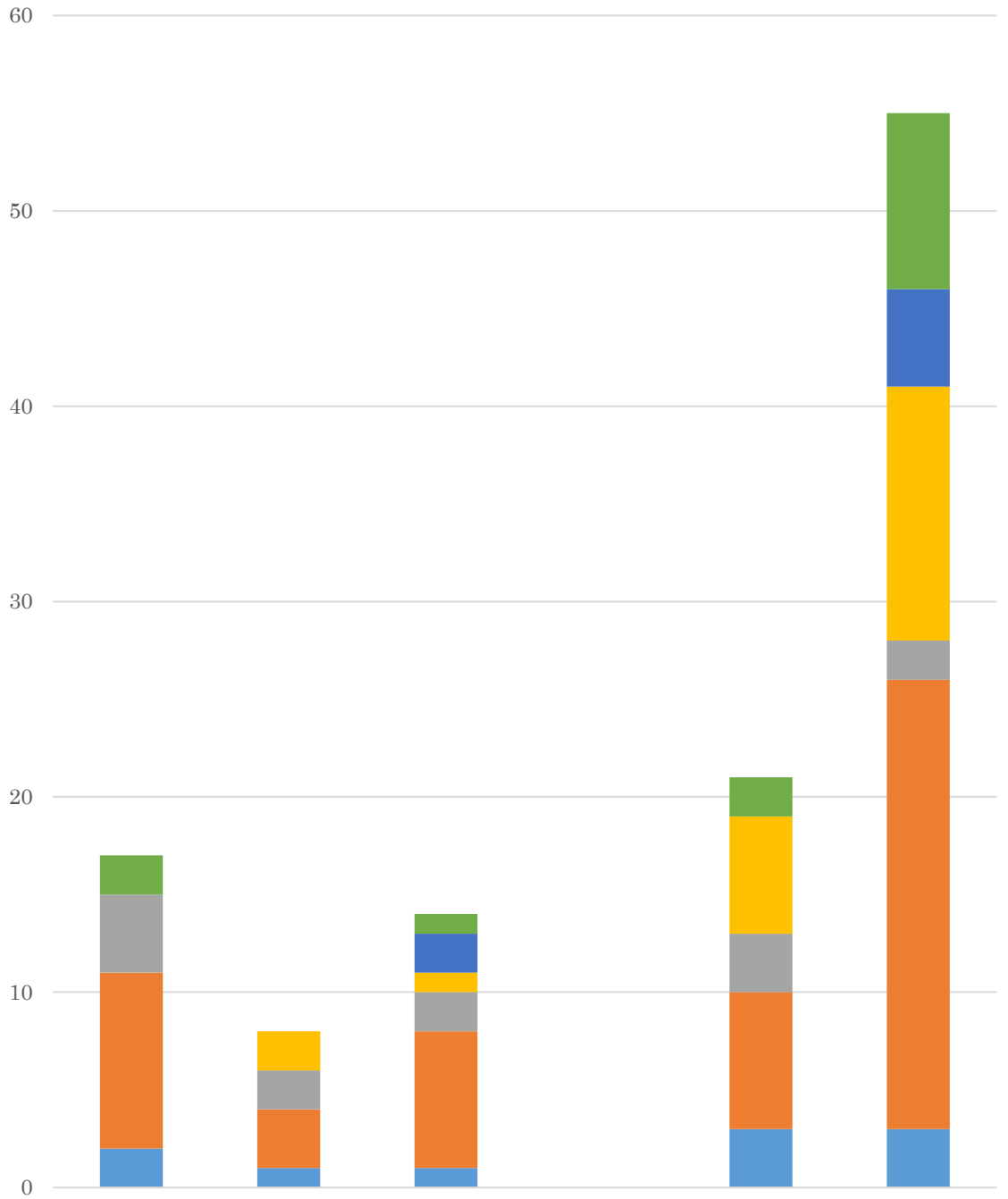


## その他サービス業



## 事業承継の予定

■ 製造業 ■ 建設業 ■ 卸小売業 ■ 飲食業 ■ 生活関連サービス業 ■ その他サービス業



後継者が決まっており、その後継者に事業を承継する。

後継者は決まっていないが、後継者候補はある。

後継者は決まっておらず、候補者もないが、事業は継続したい。

後継者がいないため、M&Aによる売却を考えている。

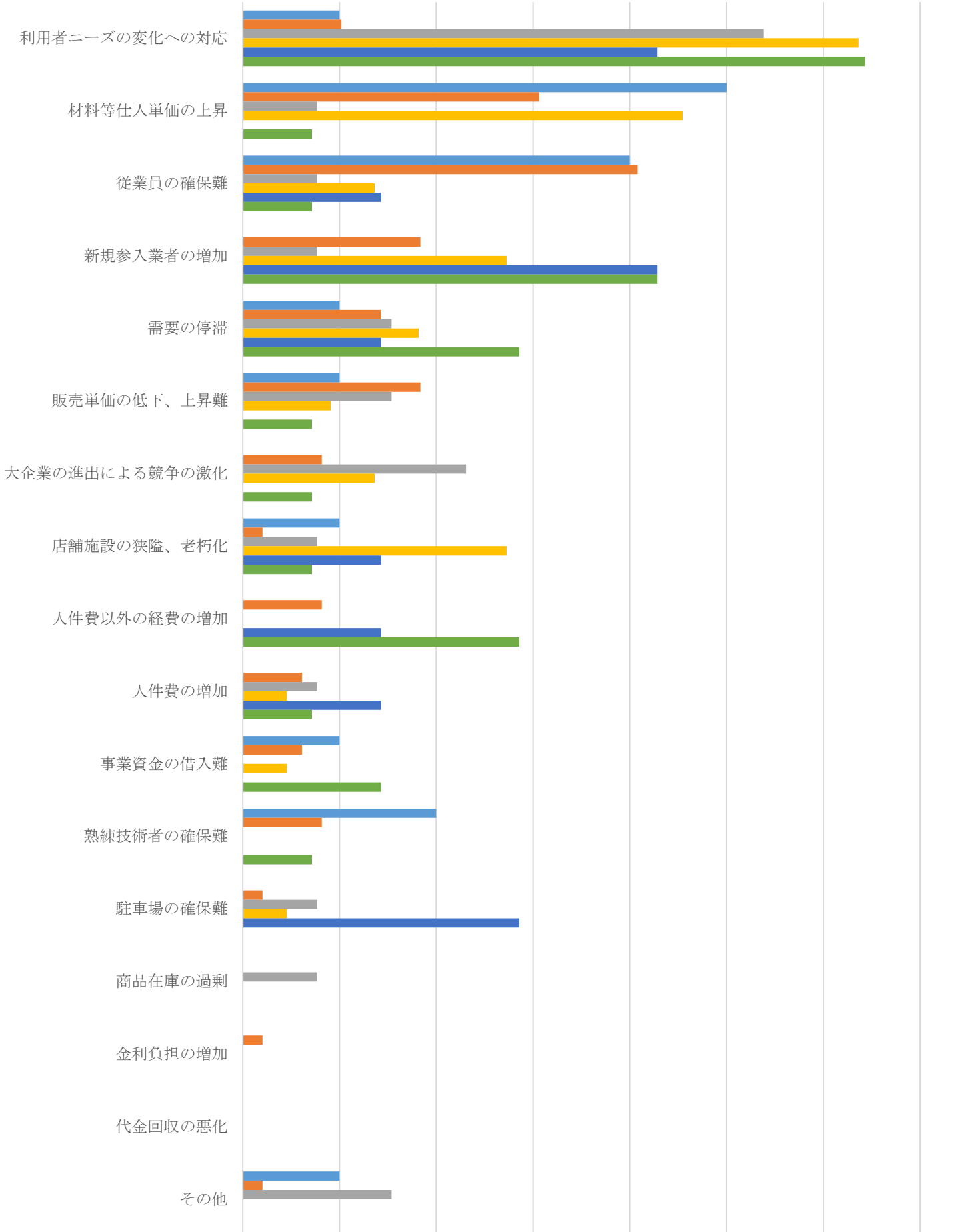
現在の事業を継続するつもりはない。

代表者がまだ若いので、後継者を決める必要がない。

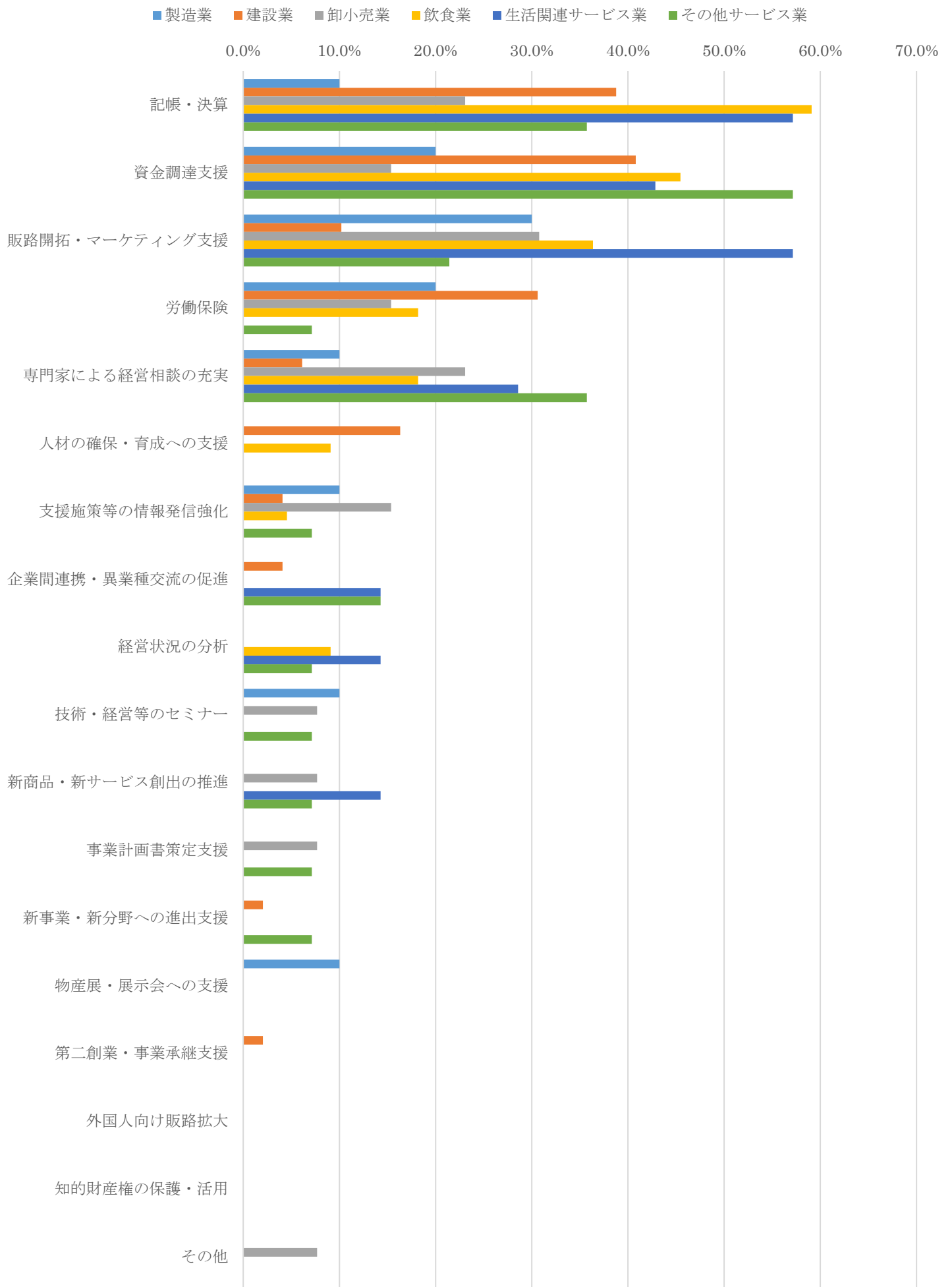
# 経営上の問題点

■ 製造業 ■ 建設業 ■ 卸小売業 ■ 飲食業 ■ 生活関連サービス業 ■ その他サービス業

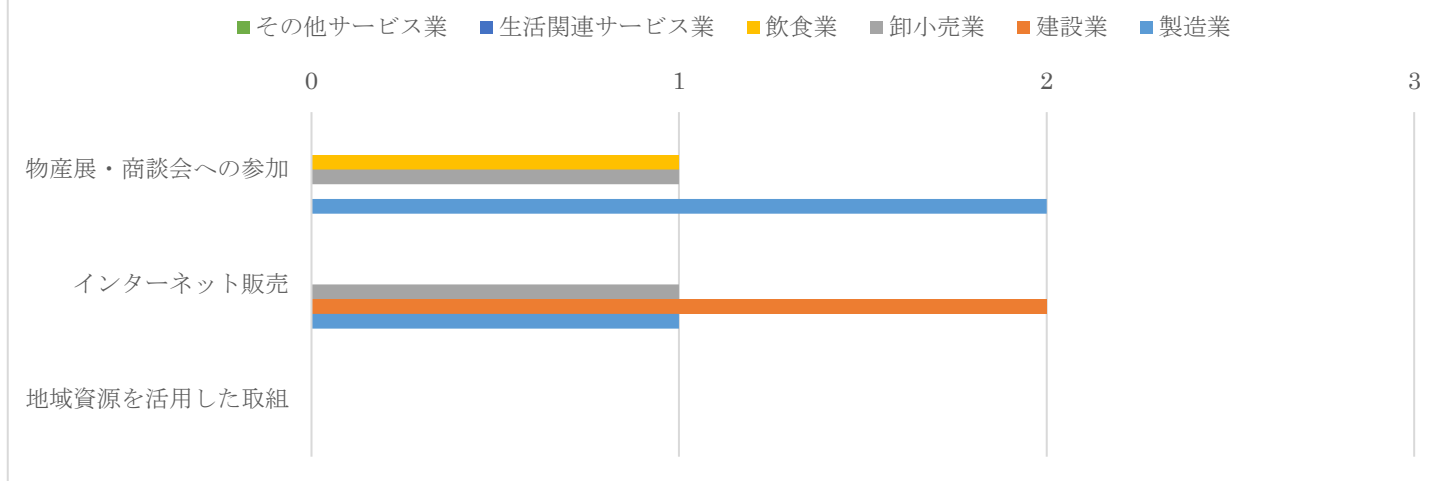
0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0% 70.0%



# 商工会への要望



## 自社で取り組んでいる事業



### ●小規模事業者の動向（小規模企業白書）

小規模事業者の主要業種(第 1-2-5 図の上位 4 業種)である「建設業」、「製造業」、「小売業」、「宿泊業・飲食サービス業」に着目し、その実態について「小規模事業者等の事業活動に関する調査」に基づき分析していく。

#### 1. 主要業種ごとの強みと課題

事業内容について小規模事業者が強みと感ずる要素(主要業種別)第 1-2-10 図は、主に働き方について事業者が強みと感ずている要素を主要業種別に見たものである。

4 業種全てにおいて、「顧客との信頼関係が強い」ことを強みとしている割合は約 9 割と高い傾向になっている。「製品やサービスの質が高い」ことを強みと感ずている事業者も、4 業種全てで比較的多い傾向にある。他方、「計数管理がしっかりしている」ことを強みだと感ずる割合は、4 業種全てで 30%を下回り低調である。小規模事業者全体として、計数の管理に課題があると推察される。

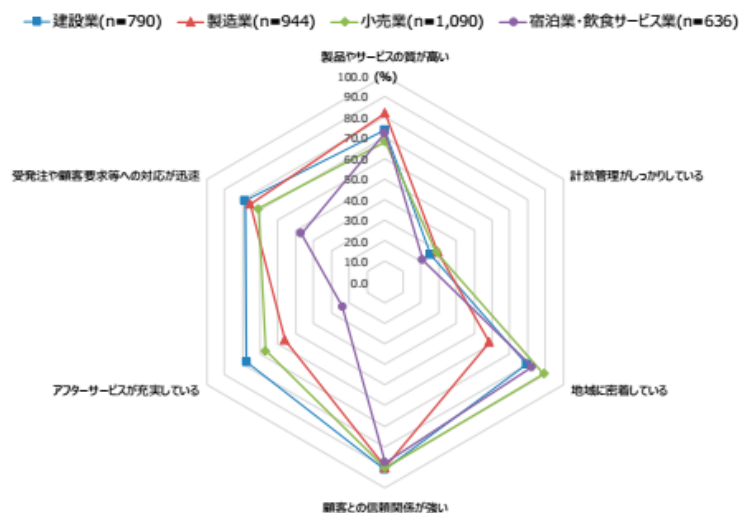
続いて業種別に見ていく。「建設業」は、「アフターサービスが充実している」ことを強みと感ずている割合が約 8 割となっている。アフターサービスによる顧客との信頼関係の構築が大切な業種だといえよう。

「製造業」は、「製品やサービスの質が高い」ことを強みとする事業者の割合が、4 業種のうち最も高く 8 割を超えている。ものづくりに自信のある小規模事業者が多いことがうかがえる。他方、「地域に密着している」ことを強みと感ずる事業者の割合が少ない。これは、BtoB の事業者の特性であると推察される。

「小売業」は、「地域に密着している」ことを強みだとする事業者の割合が約 9 割となっている。地域の顧客と良い関係を構築することが大切な業種であると考えられる。

「宿泊業・飲食サービス業」は、他の業種に比べ、「アフターサービスが充実している」ことを強みと感ずる事業者の割合が低い。これは、生産と消費の同時性がある業種の特徴といえよう。

第1-2-10図 事業内容について小規模事業者が強みと感ずる要素(主要業種別)



資料：三菱UFJリサーチ & コンサルティング(株)「小規模事業者等の事業活動に関する調査」(2017年12月)  
 (注)各項目について「強み」、「どちらかという強み」と回答した割合の合計を示している。